

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましよう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましよう。

() 月 日 曜日

高い所にあるたき

宮浦小 五年 日高 桃

大きな音が「サー」ちかずいてくる。前へ
進んでいくと、水がい、きに流れ落ちるよう
に見えました。
そのたきの名前は、大川のたきです。大川
のたきは、私の倍の高さです。
近くにいてみると、すごい音で、お母さ
んの声かさこえませんでした。

大川のたきは、島南西部の海岸近くにある
一段の落差では、屋久島最大の川で、八十入
メートルもの高さです。

大川のたきには、かんこう客かたくさんい
ました。かんこう客の中で十回以上いって
る人もいました。私は、始めてい、たので大
川のたきの音や高さで、びっくりしました。で
もたくさんい、て、いる人は、なに、い、ない、で
ず、と大川のたきをみていました。

このように私は、大川のたきは、音からあ
り、いろいろ、な、人に、す、ご、い、ね、と、よ、ろ、こ、ば、せ、て、い

No. 1

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましよう。
4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましよう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

(月 日 曜日)

なあと思いました。
 私もまた、大川のたぎりにいってみたいな
 と思いました。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

